



(公社)日本技術士会 中国本部

建設部会長

森山利夫氏

人口減少・少子高齢化が進展し、財政制約も強まる中で、我が国は自然災害の激甚化や社会資本

技術士会中国本部の森山利夫氏。

そのため、「各技術士が

建設部会は「安全で元気に地域づくりと技術士の活躍の場を広げること」を目的として活動している。憲次氏を講師として招き、インフラを取り巻く諸課題を演説し、9月には中国地方整備局広島国道事務所が担当する工事中の

昭和49年3月国立宮崎大学工学部土木工学科卒、同年4月建設省入省。江の川総合工事事務所長、三次河川国道事務所長、地方事業評価管理官を経て、平成19年3月退官。

地位向上と活躍の場拡大へ

利点アピールし会員増図る

「建設部門の技術士が果たす役割は非常に大きい」と指摘し、「技術士が先頭に立って、知恵を出していく必要がある」と語るの(公社)日本

もっと研鑽(けんさん)することで、より活発に情報交換できる場が必要」ということ、今年4月に建設部会を発足。森山氏は

次ぐ自然災害をかんがみ、休山トンネルと、海上自衛隊呉地方総監部における国内最大級の浮体式係船施設の見学会を催している。このほか、東京の統括本部と連携したWeb

その後、中国建設経済会、シーエム・エン지니어リングに勤め、26年6月にシーケイ・テックに入社し、この6月に同社代表取締役に就任。



建設部会の初代会長を務める。部会の会員数は446人(5月末現在)。中国本部全体の会員数の半分近くを占める。

域創生」にも取り組む。会員増強を図っていくと

「温故知新」。昭和25年5月20日生まれ。福岡県久留米市出身。